

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリキッズ桑名野田			
○保護者評価実施期間	2025/12/15 ~			2025/12/30
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2025/12/15 ~			2025/12/30
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026/1/15			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラム内容を計画的に構成し、質の高い療育の提供に努めています。毎年、子どもたちの特性やその年のニーズに合わせて内容を見直し、より充実した支援が行えるよう柔軟に対応しています。	内容の充実を大切にし、子どもたちが多様な経験を積めるよう工夫しています。どの曜日に来ても同じ量の学習や活動に取り組めるよう、バランスよくプログラムを整えています。	目的をさらに細分化した療育内容にする新しい発想を取り入れていく為に職員は、積極的に情報収集を行っていきます。
2	職員配置のバランスと教育環境の整備 児童の年齢や特性に応じた職員配置を行い、細かな支援ができる体制を整えています。安全で学びやすい環境や設備をしていて安心して活動に取り組めることが大きな強みです。	職員の学習時間を会議に組み込み、成功体験や失敗体験を共有しながら学び合う体制を整えています。経験豊富な職員と新入職員をバランスよく配置することで、多様な視点や意見が生まれ、より良い支援につながっています。	OFF-JTで学習に取り組む時間の確保。職員同士でディスカッションを行う機会も設けられるようにしていきます。
3	外出や地域交流の場で、新しい環境にも落ち着いて参加でき、周囲をよく見ながら行動を広げていく力があります。挨拶や簡単なやり取りにも前向きに挑戦でき、公共の場でのルールを理解しようとする姿勢が育っています。	地域のイベントには積極的に参加し、外での活動を大切にしています。公園を含め、1日1回は必ず外に出る時間を計画に取り入れ、地域との関わりや体験の機会を大切にしています。	職員が増員できるともっとたくさんの児童との外出が可能となります。現状は、職員のバランスや人数での安全面の確保が難しいこともあります。 職員の支援力向上させ安心した外出を続けていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の受け入れを制限せざるを得ない状況があり、十分な受け入れ体制を確保ができないことがある	出来る範囲の療育はできていますが高みを目指しているので改善をしていくようにしていきます ご家族様の希望する日程・日数をすべて受け入れることが難しい	人材確保をし受け皿を大きくしていく 通所希望が多くある為次の事業所の開設を検討していく
2	障がい特性に応じた関わり方を全職員が統一して実践できていない場面があり、支援方法の共有やスキルの均一化が課題となっています。	職員の適性を十分に見極めた上で配置や教育がまだ徹底できており、育成体制の強化が課題となっています。 体制は、整っていますが新規職員が増えた為教育がまだ完全ではないです。	児童発達支援と放課後等デイサービスで働く職員の適正をしっかりと見極めて配置をしていく必要があります。 注意点などを共有し続けていきます。
3	保護者様と十分に話し合う時間を確保することが難しく、情報共有や連携を深めるための時間づくりが課題となっています。	面談の機会は設けているものの、営業時間中は常に児童がいるため、保護者様と十分に話し合う時間を確保することが難しい状況があります。	面談時間の事前調整や短時間のミニ面談の導入、連絡帳の質の向上で情報共有の強化、職員の役割分担の見直しなどを行い、より円滑な連携体制づくりに取り組んでいきます。